

鹿児島大学医学部公開講座 実施報告 : Active Aging リハビリテーションからケアまで

著者	衛藤 誠二
雑誌名	鹿児島大学生涯学習教育研究センター年報
巻	6
ページ	43-47
別言語のタイトル	Extension Lecture Report ; Active Aging, from Rehabilitation to Care
URL	http://hdl.handle.net/10232/19148

Active Aging リハビリテーションからケアまで

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学 衛藤 誠二

はじめに

高齢化社会の到来により、脳卒中、老人性認知症、骨関節疾患などの障害を持ちながら、自宅や施設で生活する高齢者は増加の一途を辿っています。一方、このような高齢の障害者のリハビリテーションに関する知識、技術は、患者、家族はもとより、病院や施設でもまだまだ十分に普及しているとは言えません。

この大学公開講座は、脳卒中後遺症を中心に、高齢者の看護、介護とリハビリテーションに関する基本的な知識や技術をわかりやすく解説し、実技指導するもので、2008年度までの受講者は、病院、施設の看護師、介護福祉士を中心に、保健師、理学、作業療法士、医師、医学系学生、患者、家族まで、総数約7000名にのぼっています。多くの方々が老人の看護とリハビリテーションの知識、技術を獲得することは、これから高齢化が進む地域社会にとって有意義なことと思われます。

大学公開講座の歴史

現在の鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンターの前身は、昭和11年設置の県立温泉研究所です。その後、長く鹿児島大学病院霧島分院として診療、研究を行ってきました。昭和63年より、リハビリテーションの研究、教育、診療を行うために、国公立大学ではわが国初のリハビリテーション医学講座が設置され、分院から霧島リハビリテーションセンターとなりました。分院時代の昭和55年より、脳卒中のリハビリの知識、技術を普及させる目的で、医師、看護師等数名が手弁当で、離島を含めた県内各地を巡回して「脳卒中リハビリテーションのつどい」を開催してきました。その活動が認められ、昭和58年からは、大学公開講座となり、毎年3～4回、県内、沖縄県、宮崎県で開催しています。

大学公開講座の概要

大学公開講座は、平成11年までは土曜日午後、日曜日午前中に講義、日曜日午後に実技の2日間の日程で行って

きましたが、平成12年からは内容を整理して、日曜日午前講義、午後実習の1日としています。2008年度は、8月に霧島リハビリテーションセンター、9月に鹿児島大学医学部鶴陵会館、11月に沖縄市の沖縄県立看護大学で開催しました。

公開講座の運営は、霧島リハセンター、リハビリ医学講座の医師、看護師、セラピスト、事務職員等が携わり、駐車場係、受付係、プロジェクター係、講義、実技担当などの役割を分担します。午前中の講義は主に医師が担当し、脳卒中のリハビリの基本的な考え方、方法から始まり、嚥下障害、排尿障害、種々の痛みへの対策、高次脳機能障害、認知症の解説を行います。午後に看護師によるリハ看護の解説、移乗動作の指導を行います。その後、参加者が2人1組になって、理学療法士の指導を受けながら、関節可動域訓練や基本動作の介助を実際に行っていただきます。理学、作業療法士の方々については、実際の訓練場面で使える技術として、促通反復療法を指導しています。アンケートでは、いつも実技指導が好評を得ています。最後に参加者からの質問にお答えして、修了証書授与で終了となります。

参加者は常に80～100名で、定員を越えることもあります。地域に高齢者のリハビリに関わる方が多くおられ、また毎年、リハに関わる看護師、介護福祉士の新人の方が入って来られるためであろうと想像しています。また、夏休み期間中には、リハビリテーション医学を志す全国の医学生のために2泊3日のリハビリセミナーを行っており、その一環として、この公開講座を受講してもらっています。脳卒中リハを短期間で体験できるということで、医学生にも好評です。

おわりに

「Active Aging リハビリテーションからケアまで」は、長い歴史を有する大学公開講座ですが、内容は最新のものをお伝えするように心がけています。このような活動を息長く継続して、リハビリテーションの知識、技術を看護、介護に携わる人々に伝達することが、患者、家族の生活を良くすることにつながり、地域社会のためになると考えています。



1 午前中の講義



2 看護師による実習



3 理学療法士による実習



4 川平教授による実習



5 質疑応答



6 修了証書授与

1 講座内容

8：30～ 受付

1. 9：30～ 開講挨拶 医師
2. 9：35～ リハビリテーション概論（病気と障害，リハチーム） 医師
- 10：05～10：10 休憩
3. 10：10～11：00 脳卒中片麻痺の神経生理 医師
- 11：00～11：10 休憩
4. 11：10～12：00 脳卒中合併症：失禁，誤嚥，痛み 医師
- 12：00～12：50 昼食
5. 12：50～13：40 失語，失認，失行，認知症のリハビリテーション 医師
- 13：40～13：50 休憩
6. 13：50～14：40 脳卒中リハビリテーション看護（ADLの実際，実技指導） 看護師
- 14：40～14：50 休憩
7. 14：50～16：15 脳卒中の運動訓練（実技指導） 理学療法士
8. 16：15～16：30 総合討論と質疑応答，閉講挨拶と終了証書の授与

2 大学公開講座 25年間のまとめ,

	1	2	3	4	5	医師	看護師	保健師	PT,OT ,ST,SW	介護職	一般	その他	計
S58	鹿児島	枕崎	鹿屋	串木野	小林	16	169	116	24		92		417名
S59	鹿児島	国分	大口	指宿	都城	11	162	53	14		83		323名
S60	鹿児島	隼人	鹿屋			47	31	0	9		2		89名
S61	鹿児島	川内	志布志			20	100	27	26		63		236名
S62	牧園	鹿児島	都城			2	69	28	12		59		170名
S63	鹿児島	宮崎	那覇			5	89	34	15		95		238名
H元	鹿児島	延岡	那覇			13	109	16	19		104		261名
H2	鹿児島	宮崎	那覇			9	104	19	10		118		260名
H3	都城	鹿児島	那覇			3	85	19	11		87		205名
H4	川内	宮崎	那覇			4	67	13	11		74		169名
H5	川内	日南	名瀬	那覇		4	108	19	16		110		257名
H6	牧園	徳之島	沖縄			4	73	12	7		97		193名
H7	牧園	宮崎	那覇			10	108	9	53		56		236名
H8	牧園	宮崎	那覇	鹿屋		5	110	4	21		144		284名
H9	牧園	宮崎	那覇	名瀬		3	139	13	23		180		358名
H10	牧園	宮崎	名瀬	那覇		10	147	5	38		160		360名
H11	牧園	宮崎	名瀬	那覇		13	140	9	23		131		316名
H12	牧園	鹿児島	宮崎	那覇		12	198	13	33	91	124		471名
H13	牧園	鹿児島	宮崎	那覇		6	168	5	22	99	15	25	340名
H14	牧園	鹿児島	宮崎	那覇		12	173	3	39	151	19	46	443名
H15	牧園	鹿児島	宮崎	名瀬		5	135	2	46	54	22	48	312名
H16	牧園	鹿児島	宮崎	那覇		2	106	3	33	86	12	28	270名
H17	牧園	鹿児島	那覇			7	79	3	37	65	6	3	200名
H18	牧園	鹿児島	那覇			9	83	3	42	81	10	13	241名
H19	牧園	鹿児島	那覇			1	96	1	43	71	9	17	238名
H20	牧園	鹿児島	那覇			5	62	3	37	50	14	6	177名
	計					238	2,910	432	664	748	1,886	186	92講座 7,064名

3 地域リハ活動「脳卒中リハビリテーションのつどい」の開催地

